

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成26年10月24日に不適合管理委員会で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	換気空調系原子炉建屋排気ファン(B)逆流防止ダンパーにおいて、ダンパー連結部の緩みによる振動が認められたため、当該ダンパー連結部を点検・修理。	GⅢ	
2	3号機	漏えい検出系原子炉一次格納容器高電導度廃液サンプ出口流量計点検において、流量計リードスイッチ(B側)出力信号不良(出力値が不安定)が認められたため、当該リードスイッチを交換。	GⅢ	
3	3号機	ほう酸水注入系注入ポンプ(A)、(B)入口弁において、シート部の漏えいと思われるほう酸水注入タンク水位の上昇が認められたため、当該入口弁を点検・修理。	GⅢ	
4	3号機	主排気筒トリチウム回収装置(B)において、「サンプルガス圧力高」警報が発生し、試料採取ポンプの停止が認められたため、当該回収装置を点検・修理。	GⅢ	
5	4号機	燃料プール補給水系補給水ポンプ(B)入口電動弁開度指示計において、指示不良(弁全閉にもかかわらず開度1%を指示)が認められたため、当該指示計を点検・修理。	GⅢ	